

第45号

平成30年11月15日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第13回 ～豊津の輪 笑顔をつなぐ 運動会～ とよつふれあい運動会

10月13日(土)



区対抗リレー 各地区の健脚自慢が激戦を繰り広げました！

肌寒く、時折雨粒が落ちてくるといったあいにくの天気でしたが、みんなの頑張りで無事最後の種目まで終えることができました。

例年どおり前半は小学生の種目を中心に、午後からは地区住民が参加できる種目を行いました。

豊津小の子どもたちが一生懸命に競技する姿、地区対抗種目で繰り広げられる抜きつ抜かれつの接戦に、観覧席から大きな声援が送られていました。

最終的には優勝した地区から六位の地区まで順位がつけられましたが、どの地区も競技後の笑顔が一番でした。

総合順位		
優勝	勝	大船津第一区
二位	位	新田区
二三	位	大船津第二区
玉入れ		
優勝	勝	大船津第二区
二位	位	新田区
二三	位	爪木 B
綱引き		
優勝	勝	大船津第一区
二位	位	新田区
二三	位	大船津第二区
		爪木 B
地区対抗リレー		
優勝	勝	大船津第一区
二位	位	新田区
二三	位	大船津第三区

副大会長 和田 勉(委員長)

今年、実行委員会を開催した九月十一日に茨城新聞に『地域で楽しめる運動会』と題した紹介記事が掲載されました。とよつふれあい運動会は、豊津小の子ども達の活躍を地域の人たちが一堂に集まり見守りに行く日です。当日はとても寒い中ではありましたが、無事開催が出来ました。四世代の家族も参加して楽しい運動会でした。これから、子ども達には地域の私たちに元氣と感動をたくさん与えて欲しいと願っております。



副大会長 和田 勉(委員長)



とよつふれあい運動会を終えて

大会長 平賀康意(豊津小学校長)

十三回目を数える「とよつふれあい運動会」が多数のご来賓を迎えて、盛大に挙行できました。多くの方に支えられ運営される運動会で、本校児童も地域の方々も楽しく活動できました。今回は、テレビの撮影もあり、学校と地域が一体となって楽しんでいるこの豊津地区の運動会が日本中の人たちに少しでも知ってもらえることをうれしく思います。今後も学校と地域の協力により、末永く続けたい行事です。



紅白対抗リレー



組体操2018
キマッタ!!



いざ勝負! 豊津秋
の陣(棒引き)

寒かったけどHotな一日
運動会の一コマ

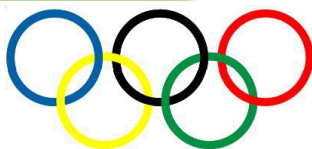
おばけのQちゃん



妖怪退治
だ!

今年も大暴れ!
山町じいちゃん

少数精鋭 豊津の子



五輪でリンリン

東京オリンピック2020
サッカー開催地として、五
輪にちなんだ種目を採用。
自転車の輪(リム)回し



負けずにゴール



おしりで椅子ドン
ケツ圧で勝負!

ト伝新当流
お突きー!!



クイズチャンピオン
優勝者は郡司さん

どうぶつにへんしーん
何に変身しても可愛い



地区対抗種目 (左から) 玉入れ・綱引き・リレー



テレビ東京が取材に

「世界!ニッポン行きたい人応援団」で放映予定です。

11月19日(月) 18時55分から(地上波7チャンネル)

身近な薬を再勉強！

7月24日、28名の参加の下、『お薬の豆知識』をテーマに高齢者教室を開催しました。

講師の石神修さん（与一薬局・薬剤師）から、薬との上手な付き合い方に加え、薬の処方時だけではなく、薬に関して少しでも疑問に感じたら気軽に相談してほしい、と健康管理のパートナーとしての薬剤師との付き合い方も教えてもらいました。

<感想>

- ・わかりやすくよかった。（大船津・坂本さん）
- ・あらためて薬との付き合い方を教えていただきました。（大船津・黒須さん）



子育て支援 元気に活動中

9月20日、今年度3回目の子育て支援～親子リトミック～を開催しました。

豊津まちづくりセンターでの「親子リトミック」も定着し、今回は9組の親子が参加しました。音楽に合わせたリズム体操の他に、ウレタン製の円柱の遊具も子どもたちには好評で、和室いっぱい可愛い声が響き渡っていました。

今年度は、11月が最後の開催になります。来年度も、多くの親子の参加をお待ちしています。



ホタル学習会・見学会

七月七日（土）、豊津まちづくりセンターで、ホタル学習会・見学会を開催しました。今年も、子ども四十八名、大人四十名と多くの方が参加してくれました。

移動教室

八月二十二日（水）に千葉市科学館へ二十名（子ども九名・大人十一名）で行って来ました。

科学館では、月の重力を体験。地球と違い、月だとなんと跳ねても大ジャンプ。面白体験でした。

参加者感想



▲楽しく学んできました

- ・普通に歩いているのに月だと大ジャンプになることを体験しました。楽しかった。鬼澤 佑輔くん 4年
- ・プラネタリウムの中で、皆既日食が見ることができました。飛田 悠翔くん 5年
- ・目や耳の錯覚を利用して音や光の不思議な現象を体験できるコーナーが楽しかった。松本琥太郎くん 5年
- ・床に寝ているいろいろな姿勢をとると、壁に登って見えるコーナーがとても楽しかった。郡司 ゆあさん 2年
- ・プラネタリウムでいろいろな星があることを知りました。良かったです。菅原 柚希くん 2年
- ・プラネタリウムの中でポケモンが登場したのが、うれしかったです。中村 綾乃さん 2年

収穫祭

八月五日（日）、リトルファームで採れた野菜をいただく収穫祭が行われました。皆たわわに実った枝豆とトウモロコシ。皆で収穫し、調理して美味しくいただきました。ごちそうさまでした。



▲収穫祭の様子

かるためぐりシリーズ ②



よしきり
川岸さわぐ
水神宮

明治四十三年八月、梅雨前線と二つの台風が重なったことから、豪雨により河川の氾濫がおき、（当時の）東日本の一府十五県で大洪水が発生しました。霞ヶ浦でも大洪水が発生したこと、大洪水の再発を畏（おそ）れ、水の安全を願い、全国的に水神宮が祀られました。ここの豊津地区は、水の郷であることから、新田・大船津・爪木に幾つかの水神宮があります。

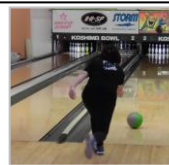
「よしきり」とは、スズメ目ヨシキリ科ヨシキリ属の鳥の総称で、一般的にオオシキリのことを指します。中国南部から夏鳥として飛来する渡り鳥です。

「ギョギョシ、ギョギョシ」という鳴き声から、「行々子」という字をあてられていますが、オオシキリという名前前は、葦（よし）を切り裂いて中にいる獲物を捕食することに由来しています。

川面に生えた葦の間から聞こえる騒がしいヨシキリの鳴き声と、静かに水の安全を見守る水神宮が醸し出すコントラスト。葦が川岸にほとんど見られなくなつた今となっては、懐かしい夏の一幕となつてしまいました。

休みの日に、この豊津地区のどこに水神宮があるのか、何か所あるのか、散策してみるのも良いですね。

消？ ストレス 大会 ボウリング



今年度1回目のスポーツ健康教室として、9月30日、チェリオボウルでボウリング大会を実施しました。

昨年度に引き続き2回目の開催となる今回は、18人の参加がありました。

マイボールをきれいなフォームで操る方、力任せに放り投げる方、腰を痛めないようにやんわりと投げる方などいろいろ。後半は疲れてしまった方もいましたが、2ゲームを楽しみました。

最後には全員に賞品が手渡され、「来年度もぜひやりたい！」という声が多く聞かれました。



いつでも元気

豊津地区敬老会

九月二十三日
場所…新仲家

これまで地域づくりにご尽力をいただいた高齢の方々に感謝すると共に、高齢者福祉に対する関心と理解を深めることを目的に今年度も敬老会を開催しました。

今年度の敬老会の対象者は平成三十一年四月一日で七十五歳以上になる方で、豊津地区には二五二人の方がいます。その内米寿の方が十一人、喜寿の方が十八人で、式典の中で記念品を贈呈しました。

前半の式典の後、後半は歌や踊りが披露され、出席された高齢者の方々は楽しいひと時を過ごされました。



▲今年度から新たに敬老会の対象となった方々

やさしい介護講座①(実技)・②(講演)

七月七日、七月二十一日の二回に分けて、豊津まちづくりセンターで介護講座が行われました。

七日は実技の講座で、十九名参加でした。

内容は、車いすの操作、ベッドの上での体の動かし方や移動の方法、便利な福祉用具の使い方を学びました。

参加者の感想

ちよっとしたコツで介護がしやすくなることを知り、とても勉強になりました。

二十一日は講演で、十二名の参加でした。

かしま西地域包括支援センター主任介護支援専門員の石原進一さんから、介護保険制度の仕組み(サービス利用の手順・制度改正のポイント等)を教えてくださいました。

今の超高齢社会では、不可欠な知識です。介護する側も介護される側ももって知っていることで、その立場になった時に慌てずに対処できるのではないのでしょうか。

参加者の感想

介護は、あまりにも現実的で身近な事だと実感しました。



暑かったけど 高尾山最高

豊津ハイキング

うだるような暑さが続く中、一服の涼を求めて、七月十五日、高尾山(東京都八王子市)へ行ってきました。

参加した二十三人は、滝のように流れる汗を拭き、こまめに水分を取りながら、自分のペースで山頂を目指しました。残念ながら、山頂からの見晴らしは良くありませんでしたが、集合写真の素晴らしい笑顔は、皆さんの達成感を物語っていますね。お疲れ様でした。



★つぶやき★ 今年は、日本各地で最高気温の記録更新、地震や台風・大雨など自然災害が多くありました。他人事ではありません。自分も少し危機感をもって、今一度ハザードマップの確認、食料品の備えの再確認をしようと思います。来年は平成最後の年。『地平天成』に過ぎ、無事新しい元号を迎えられるといいですね。(H)